



平成18年 第3回 対馬市議会定例会

平成18年第3回対馬市議会定例会が9月19日から28日までの会期で開会され、平成18年度対馬市一般会計補正予算(第3号)など28件の議案が可決され、請願1件、陳情2件が採択されました。

可決された主な議案の内容

平成18年度対馬市一般会計補正予算(第3号)

歳入歳出総額に3億4,600万円を追加し、今年度の一般会計予算総額が33.9億4,900万円となりました。

対馬市一般職の任期付き職員採用等に関する条例の制定

特に必要とされる業務について、専門知識や経験を持った民間人を任期付き職員として採用するものです。

対馬市消防団員の定員、任命、給与、服務等に関する条例の一部改正

消防団員の定員を2,100人から1,900人に削減しました。

対馬市厳原自動車教習所条例の一部を改正する条例

教習場の管理を指定管理者に行わせることができるようになりました。

対馬市交流センター駐車場の指定管理者の指定について
同管理者に(株)まちづくり厳原が指定されました。期間は平成18年10月1日から平成21年3月31日までです。

任期付き職員に採用

市長補佐官

岩佐俊彦さん



「対馬市一般職の任期付き職員採用等に関する条例」の制定により、10月1日付けで岩佐俊彦さんが市長補佐官として採用されました。

期間は平成18年10月1日から3年間で対馬市観光商工部に所属し、企業誘致・観光振興を担当します。

岩佐さんは上県町佐須奈出身の54歳。大手旅行代理店の近畿日本ツーリスト(株)に32年間勤務し、提案型企画旅行の販売をはじめ、オランダ・サイパンでの8年間の海外赴任も経験されています。

岩佐さんよりご挨拶

企業誘致は雇用創出と定住人口の増加、観光振興は一般観光に加え、一次産業との融和による体験観光と産業観光を促進して流動人口の増

加を図り、経済の活性化を目的とした大変重要な役目を担うと思います。

この役目を果たすには、在籍する観光商工部、関係する各部、各支所、議会、関係機関、民間企業、民間団体、市民の皆様のご協力並びにご支援が無ければ達成できる任務ではないと考えています。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

活力ある島づくり方策へ向けて政策提言

第5回対馬振興プロジェクト東京会議 開催



対馬の振興や活力ある島づくりに関する政策提言機関として昨年9月に設置された「対馬振興プロジェクト東京会議」の第5回目の会合が、9月4日、美津島町のホテルで開かれました。

市内で開催されるのは昨年の11月以来2回目、会合には市長のほか、市が委嘱した地域づくりに関する有識者8名の委員中、5名とオプザーバー1名が出席しました。

会議では観光交流の振興をテーマに、地域の活性化を図るため活発な意見交換が行われました。

今回の会議での主な提言内容として、「観光交流を進めていくためには市、民間レベルいづれでもよいが推進主体となる組織づくりがまず必要である」、「韓国に近いということが全国で対馬だけの魅力になる。日韓の観光客同士が交流できるようにすれば、そのことが売り物になるのでは」、「観光客を集めるには、まず対馬の住民が外に出て集まってもらえるような賑わいの場(市場など)をつくるのが大事」などの意見が出されました。

同会議は、今後2回開催予定で、来年2月の最終回をもって具体的な振興策が盛り込まれた提言書がまとめられ、市長へ報告される予定です。

国民保護計画の
作成へ向け
対馬市国民保護協議会 開催



委員へ委嘱状を手渡す松村市長

対馬市の国民保護計画の作成へ向け設置された対馬市国民保護協議会の平成18年度第1回会議が8月30日、対馬市消防本部会議室で開催されました。

会議には、対馬海上保安部をはじめ、陸・海・空の自衛隊、対馬地方局、郵便局、九州電力株、市及び消防本部など各方面から選出された42名の委員中、38名が出席しました。

会議では同協議会の松村良幸会長が委員に委嘱状を交付した後、事務局が国民保護法の概要について説明。続いて協議会の運営要領、対馬市国民保護計画素案などが審議されました。

対馬市国民保護計画とは
この計画は、平成16年9月の「国民保護法」の施行に伴い、武力攻撃、大規模なテロ等が発生した場合に備え、住民の避難や救援などを迅速・的確に行えるように都道府県と市町村はあらかじめ作成しておくことが義務づけられました。

市では、協議会の他に広く市民から意見を募る「パブリックコメント」を実施し、寄せられた意見を踏まえながら計画の調整を行い、県との協議のち平成19年2月には計画を決定。3月には市議会へ報告、一般への公表を行う予定です。

9月1日(防災の日)
災害対策研究会を開催
対馬での地震対策を研究

防災の日の9月1日、「想定対馬地震における災害対策研究会」が市消防本部で実施され、県地方局をはじめ、南警察署、海上保安部、陸上自衛隊、市及び消防本部の6機関の関係者約30名が参加しました。

この研究会は関係機関の連絡通報の手順の確認や災害時の対処方法等について研究を行い、スムーズな対応が出来ることを目的としたものです。研究会では、2006年9月1日、午前10時頃に対馬西岸沖3kmの海上でマグニチュード6.0の地震が発生し、豊玉町水崎地区で震度6弱の地震が発生したとの想定で、災害発生時における情報収集のあり方や海上からの救助活動についてなど、各機関がそれぞれ割り当てられたテーマについて発表を行いました。



災害対策研究会の様子

した。

昨年3月20日に発生した福岡県西方沖地震では、対馬でも震度4を記録するなど改めて地震の怖さを認識させられただけに、発表にも熱が入っていました。

厳原町榎根在住の廣田幸雄さん(81歳)が、全国少年補導労者表彰で、警察庁長官・全国少年補導員協会長連名の少年補導労者表彰を受賞しました。長年にわたり少年の非行防止、健全育成に取り組んできた功績が認められたものです。

全国少年補導労者表彰
金章を受賞
廣田幸雄さん(厳原町)



廣田さんは昭和58年以来、少年補導員として活動され、現在は対馬南地区少年補導員連絡協議会の会長として活躍されております。

受賞に際し廣田さんは、昭和58年当時と比べ、現在は少年の非行が少なくなっただけが「一番嬉しいです」これまでの活動をふり返っていました。

9日 対馬空港まつり
10日 老人クラブ厳原支部ゲートボール大会
13日 厳原管内90歳以上の方への記念品贈呈
15日 陸自新隊員課程(後期)教育終了式
19日 第3回対馬市議会定例会
26日 定例記者発表
27日 高齢者ふれあいスポーツ大会、四季の会
29日 30日 外務省訪問(東京)

市長の動き

〈9月〉

- 1日 市政説明会 (久田)
- 2日 しま自慢観光カレッジ開校式
- 4日 入札監視委員会、対馬振興プロジェクト東京会議
- 5日 バリユニグループ対馬展視察 (福岡)
- 6日 市政説明会 (一重)
- 8日 市政説明会(千尋藻)



- 9日 対馬空港まつり
- 10日 老人クラブ厳原支部ゲートボール大会
- 13日 厳原管内90歳以上の方への記念品贈呈
- 15日 陸自新隊員課程(後期)教育終了式
- 19日 第3回対馬市議会定例会
- 26日 定例記者発表
- 27日 高齢者ふれあいスポーツ大会、四季の会
- 29日 30日 外務省訪問(東京)